

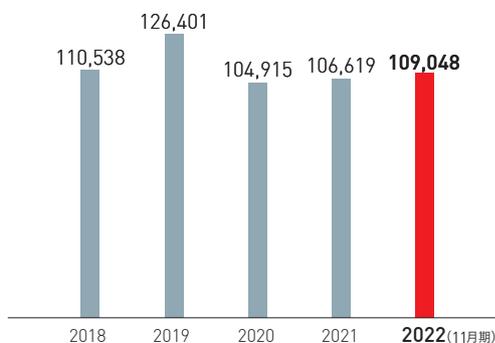
主要財務データの推移(11年間)

	2012年11月期	2013年11月期	2014年11月期	2015年11月期	2016年11月期
<連結損益状況>					
売上高(百万円)	97,357	97,677	100,477	102,854	100,982
営業利益(百万円)	5,337	5,596	6,028	7,342	7,620
経常利益(百万円)	5,401	6,023	6,635	7,799	7,649
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,261	3,346	3,572	4,690	5,002
<連結財政状態>					
純資産額(百万円)	70,046	77,485	79,442	81,807	82,155
総資産額(百万円)	117,792	132,931	133,938	132,749	130,635
有利子負債額(百万円)	15,976	20,678	17,748	16,879	15,413
<連結キャッシュフロー状況>					
営業活動によるキャッシュフロー(百万円)	5,397	6,180	12,146	6,845	9,514
投資活動によるキャッシュフロー(百万円)	△3,740	△10,104	△4,061	△2,324	△6,590
財務活動によるキャッシュフロー(百万円)	1,505	2,158	△5,334	△4,909	△3,361
フリーキャッシュフロー(百万円)	1,657	△3,924	8,085	4,521	2,924
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)	13,525	11,986	14,923	14,686	14,265
<1株当たり情報>					
1株当たり純資産額(円)	913.10	1,010.83	1,036.09	1,096.44	1,101.87
1株当たり当期純利益(円)	42.98	44.16	47.15	62.17	67.88
配当金(円)	18	18	18	20	22
株価収益率(PER)(倍)	12.91	17.19	16.25	15.02	11.79
配当性向(%)	41.9	40.8	38.2	32.2	32.4
最高株価(円)	649	873	816	1,042	949
最低株価(円)	513	549	680	737	664
<財務データ>					
営業利益率(%)	5.5	5.7	6.0	7.1	7.5
自己資本比率(%)	58.8	57.6	58.6	60.9	62.2
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	4.7	4.6	4.6	5.9	6.2
設備投資額(百万円)	3,678	6,804	6,127	3,066	5,966
減価償却費額(百万円)	3,505	3,383	3,671	3,564	3,490

2017年11月期	2018年11月期	2019年11月期	2020年11月期	2021年11月期	2022年11月期
103,498	110,538	126,401	104,915	106,619	109,048
8,348	8,368	10,472	9,048	9,900	10,707
9,089	9,128	11,165	12,655	9,784	11,715
5,270	5,274	6,520	7,121	8,308	7,283
89,067	89,195	93,344	95,714	104,620	107,734
140,202	141,644	148,707	147,172	163,632	163,384
16,742	18,139	17,476	20,771	21,082	19,279
9,206	5,812	13,694	11,315	12,404	9,449
△6,695	△2,933	△3,143	△6,225	△2,093	△6,878
△743	△1,483	△2,923	△359	△1,483	△9,498
2,511	2,879	10,551	5,090	10,311	2,571
15,951	17,425	25,013	29,927	41,052	34,363
1,194.34	1,212.69	1,264.35	1,310.05	1,398.04	1,508.32
71.52	72.26	89.70	98.57	115.07	100.54
22	22	26	27	28	30
13.87	12.72	11.85	10.71	7.31	10.03
30.8	30.4	29.0	27.4	24.3	29.8
1,054	1,205	1,115	1,153	1,072	1,114
766	840	727	706	834	829
8.1	7.6	8.3	8.6	9.3	9.8
62.8	62.2	61.8	63.8	62.9	65.3
6.2	6.0	7.2	7.7	8.4	7.0
6,063	3,227	3,865	3,562	3,525	4,652
3,681	3,780	3,580	3,669	3,669	3,869

グラフで見る財務データの推移

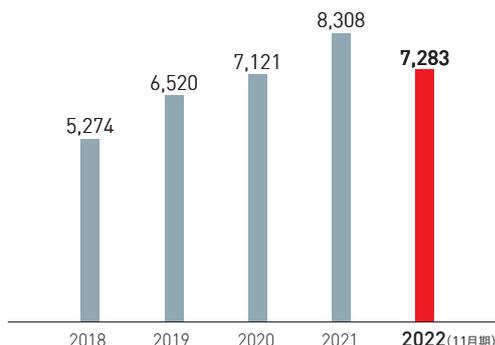
売上高 (百万円)



前期比2.3%増加

2022年11月期の売上高は、衣料繊維事業及び当期から(株)フジコーの通期連結が寄与する産業機材事業の業績が好調だったこと等により、前期比2.3%増加し109,048百万円となりました。

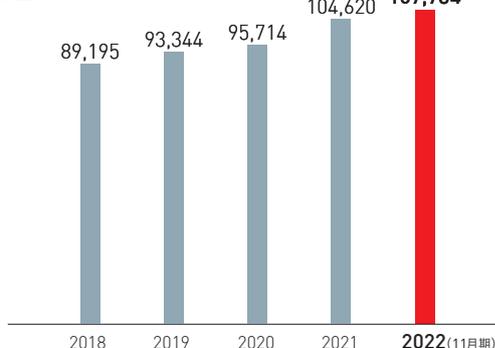
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



前期比12.3%減少

(株)フジコーの完全子会社化に伴う負ののれん発生益の計上が無くなったこともあり、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比12.3%減少しました。

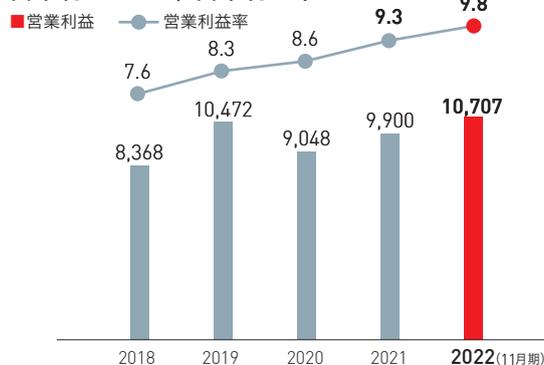
純資産 (百万円)



前期比3.0%増加

純資産は自己株式の減少等により、前期比3.0%増加して107,734百万円となりました。

営業利益 (百万円) / 営業利益率 (%)



**営業利益は前期比8.1%増加、
営業利益率は前期比0.5ポイント増加**

営業利益は「RN130ビジョン第2次中期経営計画2年目」の計画数値を上回り、前期比8.1%増加の10,707百万円となり過去最高値を更新しました。

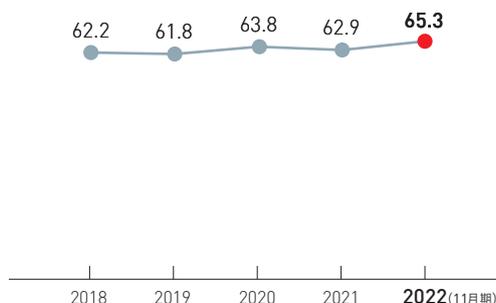
総資産 / 有利子負債 (百万円)



**総資産は前期比248百万円減少、
有利子負債は前期比1,803百万円減少**

現金及び預金の減少等により総資産額は248百万円減少し、163,384百万円となりました。有利子負債は前期より1,803百万円減少し、19,279百万円となりました。

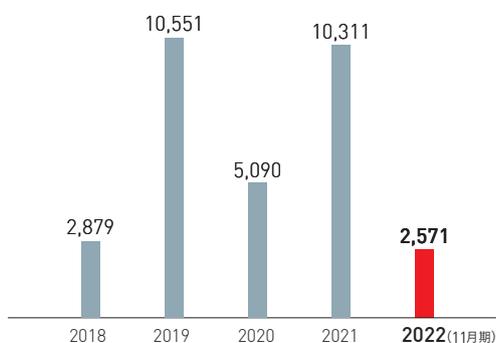
自己資本比率 (%)



前期比2.4ポイント増加

自己資本比率は前期の62.9%から65.3%へと2.4ポイント増加しました。

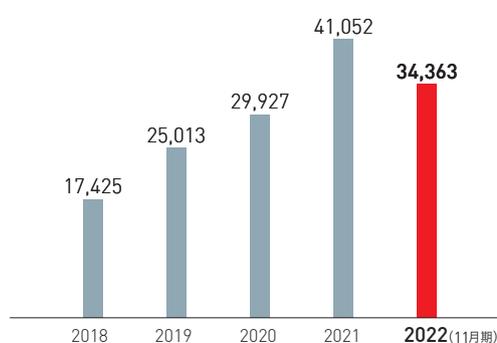
フリーキャッシュフロー (百万円)



前期比7,740百万円減少

営業キャッシュフロー9,449百万円に対して投資キャッシュフローは△6,878百万円で、フリーキャッシュフローは2,571百万円となりました。

現金及び現金同等物の期末残高 (百万円)



前期比6,689百万円減少

現金及び現金同等物の期末残高は、前期より6,689百万円減少して34,363百万円となりました。

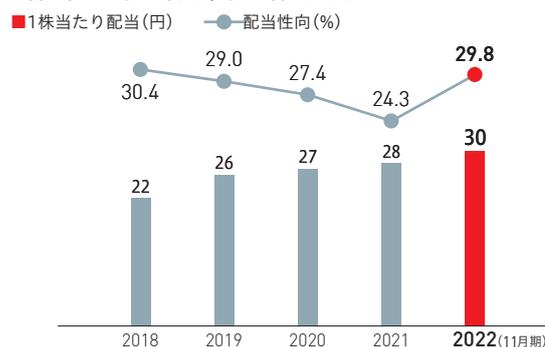
1株当たり当期純利益 (円)



前期比14.53円減少

1株当たり当期純利益は、前期の115.07円から14.53円減少し100.54円となりました。主な要因は純利益同様に負ののれん発生益の計上が無くなったことですが、当社の重要な経営指標の一つと考えています。

1株当たり配当 (円) / 配当性向 (%)



年間配当金額は前期比2円増配、 配当性向は前期比5.5ポイント増加

年間配当金額は、前期の28円から2円増配し30円となりました。配当性向は、前期の24.3%から5.5ポイント増加し29.8%となりました。

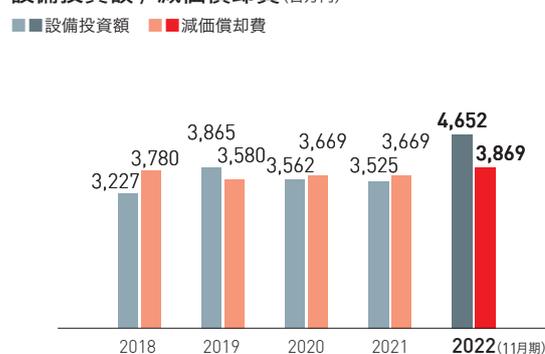
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)



前期比1.4ポイント減少

自己資本当期純利益率(ROE)は、前期の8.4%から1.4ポイント減少し7.0%となりました。中期経営計画で定めた数値目標7.0%以上レベルを維持でき、今後も重要な経営指標として重視したいと考えています。

設備投資額 / 減価償却費 (百万円)



設備投資額は前期比1,127百万円増加、 減価償却費は前期比200百万円増加

設備投資額は生産設備の導入や商業施設のリニューアル等により、4,652百万円となりました。減価償却費は3,869百万円となりました。

Environment(環境) 関連

各実績データは環境負荷の大きいショッピングセンターおよび(株)ニッケ機械製作所を追加し2017年度まで遡って集計したため、数値データは変更されています。

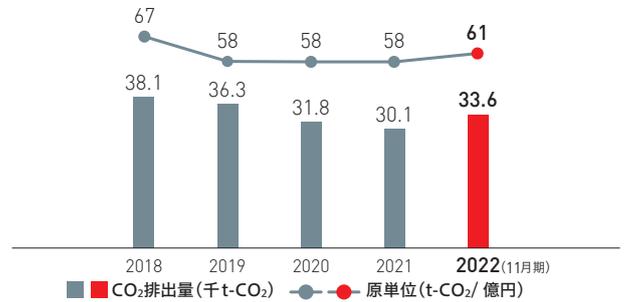
総エネルギー使用量 (ニッケグループ国内製造拠点+ニッケオフィス+ショッピングセンター)



総エネルギー使用量は2020年度比で6.3%増加、原単位では5.0%増加し目標未達

総エネルギー使用量は(株)フジコーの連結子会社化により増加しました。原単位は受注が少なかったことによる生産量減、新型コロナウイルス感染症対策による空調電力増加によるものですが、さらなる効率的なエネルギー使用に努めています。

CO₂排出量 (ニッケグループ国内製造拠点+ニッケオフィス+ショッピングセンター)

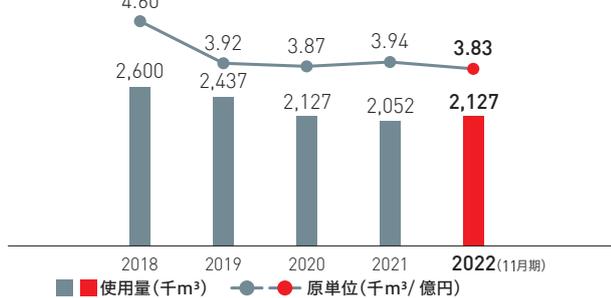


(注)CO₂排出係数は、2022年11月期の係数が未発表のため、2022年11月期実績の算出に2021年11月期の係数を使用しています。また、2021年11月期実績は、2021年11月期の係数が発表されたため修正し、昨年報告したデータと数値が異なります。

CO₂排出量は2020年度比で5.7%増加、原単位では4.4%増加し目標未達

CO₂排出量原単位は「2020年度比98%以下」の目標に対して、実績は「104.4%」と目標を達成できませんでした。この主な要因は、総エネルギー原単位の増加原因と同様です。CO₂排出量は、京都市定書に定める基準年1990年と比べて国内製造部門では75.3%減、ショッピングセンター部門を加えると67.6%減となりました。

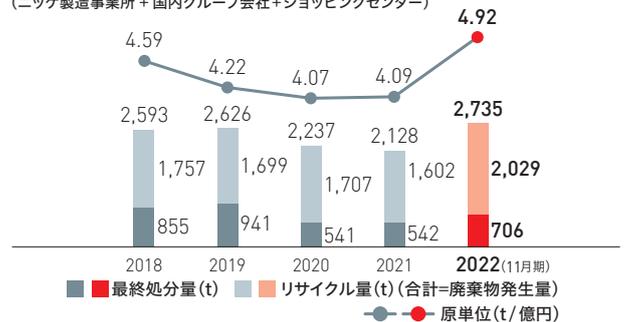
水資源使用量 (ニッケ製造事業所+国内グループ会社+ショッピングセンター)



水資源使用量は2020年度から増減なく、原単位では1.2%減少

使用する水資源には上水・工業用水・地下水があります。2022年11月期の水資源使用量は2020年度比100.0%で、原単位は1.2%減少しました。今後水資源の再利用、配管システムの点検・改修を強化し、水資源使用量の削減に努めます。

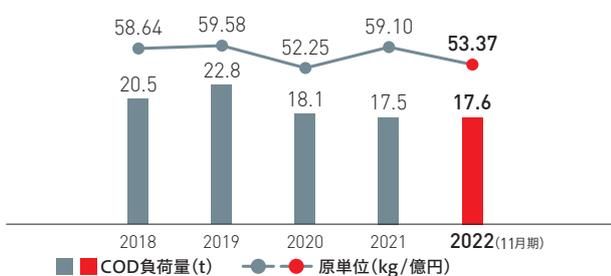
廃棄物発生量・リサイクル量・最終処分量 (ニッケ製造事業所+国内グループ会社+ショッピングセンター)



廃棄物発生量原単位において2020年度比で120.3%と目標未達

廃棄物発生量原単位は「2020年度比98%以下」の目標に対して、実績は「120.3%」と目標を達成できませんでした。2022年度から新規のグループ会社を算入することにより、売上高の増加分以上に、廃棄物量が増加した結果、大幅に未達となりました。今後とも各事業所での廃棄物の分別、リサイクルに努めます。

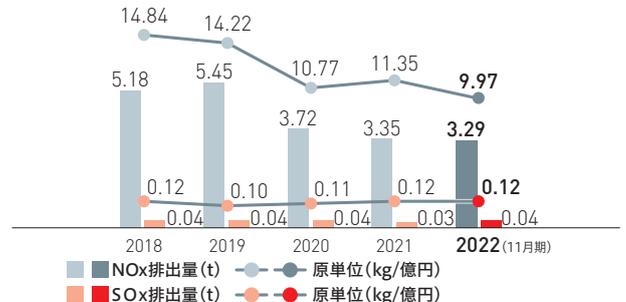
排水管理(水質汚染排出: COD負荷量) (ニッケ製造事業所+国内グループ会社)



COD負荷量は2020年度比で2.6%減少、しかしながら、原単位では2.1%増加

工場排水に含まれるCOD負荷・SS負荷は、自社の排水処理装置または公共の下水処理場でこれらの負荷量を減少させた上で、河川などの公共水域に放流しています。各工場では定期保全の確実な実施に加え、日常的な管理運用、上乗せ排出基準の設定、排水水質の定期分析などを通じて、「水質汚濁防止法」や関係法規、環境保全協定に基づく排出基準を下回るように管理しています。

大気汚染管理(SO_x・NO_x排出量) (製造事業所+国内グループ会社)

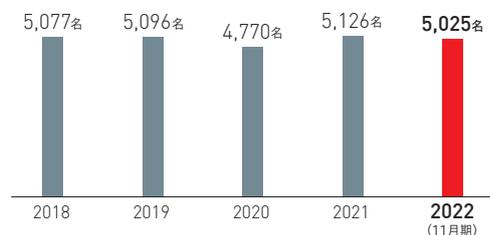


NO_x排出量原単位は2020年度比で7.4%減少、SO_x排出量原単位は4.6%増加

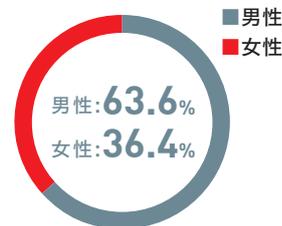
ニッケグループから排出されるSO_x・NO_x・ばいじんはボイラーの排ガスに含まれるもので、特にSO_xの排出はボイラー燃料に起因します。ニッケ印南工場、一宮事業所、岐阜工場、アンビック(株)、(株)フジコーは、天然ガスなどを燃料とするボイラーを使用しており、SO_x排出量をゼロにしています。各工場では定期保全の確実な実施に加え、日常的な管理運用、排ガスの定期分析を通じて、NO_x・ばいじんは「大気汚染防止法」や関係法規、環境保全協定に基づく排出基準を下回るように管理しています。

Social(社会)関連

従業員数 (ニッケグループ全体) (2022年11月30日現在)

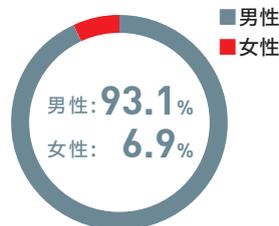


従業員における男女比率 (ニッケ単体) (2022年11月30日現在)



※正社員、準社員、パート、出向者を含む

管理職における男女比率 (ニッケ単体) (2022年11月30日現在)



男女の賃金差異 (ニッケ単体) (2022年11月30日現在)



労働者の1ヵ月当たりの平均残業時間 (ニッケ単体)



キャリア採用者数 (ニッケ単体)

男性: 4名 女性: 3名

新卒採用者数 (ニッケ単体)

男性: 7名 女性: 2名

障がい者雇用者数 (ニッケ単体)

15名

育児休業取得者の状況 (ニッケ単体)

男性: 25% 女性: 100%

※法定: 1歳(一定の場合2歳まで)
ニッケ: 出産休暇終了後1年(一定の場合2歳までもしくは1歳を超えた年度末まで)

出産休暇取得者の状況 (ニッケ単体)

2名

※法定: 産前6週/産後8週
ニッケ: 産前産後各8週

介護休業取得者の状況 (ニッケ単体)

男性: 0名 女性: 0名

※法定: 93日
ニッケ: 勤続5年未満6カ月、勤続5年以上1年

平均年次有給休暇取得日数 (ニッケ単体)

12.1日

従業員平均年齢 (ニッケ単体)

45.2歳

従業員平均勤続年数 (ニッケ単体)

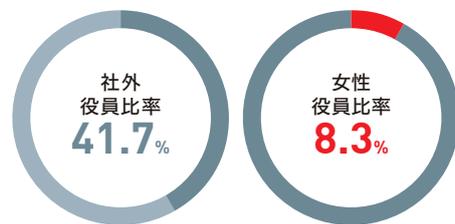
16.7年

Governance(ガバナンス)関連

取締役会および監査役会の構成



2022年11月期の社外役員数は5名、うち1名が女性。女性役員比率は8.3%となっています。



ニッケグループの歩みは、価値転換の歴史です。

1896
創業

祖業は繊維業

優位分野の育成による安定した収益基盤の確立

1930

1940

1950

1960

1970

衣料繊維事業 1896年～

ウール由来の先端素材やハイブリッド素材・製品の開発・提供

生活流通事業 1960年～

商社機能を活か

産業機材事業

1896～

祖業は繊維業

- 1896年
日本毛織株式会社設立
- 1899年
加古川工場操業開始、赤毛布製造
- 1903年
技術者のヨーロッパ派遣
- 1904年
創業以来初めての好業績、ウールのニッケの基礎を確立
- 1913年
日本毛糸紡績株式会社設立
- 1917年
日本フェルト帽体(株)(現・アンビック(株))
創立、川西清兵衛出資
- 1918年
日本毛糸紡績(株)(旧・姫路工場、旧・岐阜工場)吸収合併
- 1919年
印南工場操業開始
- 1929年
女子深夜業廃止、先後2交代制開始、これに先立ち各工場に学習所を設置、後に女学校へ
- 1935年
日毛岐阜女学校 普通女学校認可
- 1937年
神戸市神戸区明石町47に本社ビル(現・本店)建設
- 1941年
共立モスリン(株)(旧・中山工場/現・ニッケコルトンプラザ)を吸収合併
- 1942年
昭和毛織紡績(株)(旧・弥富工場、旧・一宮工場)を吸収合併

1945～

戦後の歩み

ユニフォーム領域に特化し堅調な成長を続ける

- 1945年
空襲により中山・姫路・岐阜・一宮工場被災
明石町本社ビル連合軍総司令部(GHQ)に接収
- 1949年
新制東京証券取引所設立、同年1部に上場
証券コード 3201
- 1950年
旧・弥富工場再建
- 1951年
技術者のアメリカ、フランス国際繊維博覧会派遣
- 1952年
新規自動織機の導入
- 1956年
創立60周年 ミスターニッポン、ミスニッポン
コンテスト開催
- 1957年
ニッケ学生会会発足
- 1958年
鶴沼工場操業開始(現・岐阜工場)
- 1961年
ニッケ不動産(株)設立/信成商事(株)
(現・ニッケ商事(株))の経営に参加/
「ニッケ・ブリーツスカート」発売
- 1962年
「ニッケアベック歌合戦」テレビ放送開始
(単独提供)
- 1964年
日本でのウールマーク使用認可第1号を取得
- 1966年
スクールユニフォームの全国販売ネット
ワークの展開
- 1967年
アカツキ商事(株)設立

1970～

オイルショック後の構造改革、 資本を非繊維(工業製品・エンジニアリング・街づくり)へ展開

余剰資本を強みが活用できる新分野へ投入。
不動産は、売却を行わず地域開発を志向

- 1970年
ニッケ機械製作所を設置(1978年(株)ニッケ機械製作所として独立)
- 1974年～1975年
赤字決算、構造改善と生産体制の再構築
- 1976年
加古川・印南両工場を統合し印南工場とする
- 1982年
中山工場閉鎖
- 1984年
加古川工場跡地にショッピングセンター、
ニッケパークタウンオープン
- 1987年
(株)ニッケレジャーサービス設立
- 1988年
旧・中山工場跡地(千葉県市川市)にショッ
ピング・飲食・スポーツなどの複合施設
ニッケコルトンプラザオープン
- 1990年
「加古川マラソン」に単独協賛、以後毎年協
賛/ニッケミラノオフィス開設
- 1991年
大阪府中央区瓦町3丁目3-10に現本社ビル
完成
- 1995年
阪神淡路大震災で本店ビル(神戸)被災/双
洋貿易(株)をグループ会社化(現・ニッケ商
事(株))
- 1996年
創立100周年
愛知県一宮市にニッケ創作工房を開設
- 1998年
中国青島市に青島日毛織物有限公司設立/
大成毛織(株)にて毛織物の量産開始/
(株)中日毛織をグループ会社化(現・大成
毛織(株))
- 1999年
(株)ニッケインドアテニス設立(現・(株)ニ
ッケウエルネス)

祖業である繊維事業で培ってきたさまざまな資本を、時代の変化を捉えた堅実性と積極性を併せ持つ経営指針のもとに事業ポートフォリオを変化させ、新しい社会価値に転換し続けてきたノウハウや経験こそが、独自の「サステナブル経営」モデルであり事業としての強みです。

繊維事業からの
“人財・ノウハウ・資産”の活用による価値転換

事業や資本の活性化
新しい社会価値の探索

1980

1990

2000

2010

2020

した、グループ内外に対する販売・物流サービスの提供

1970年～ 自動車関連や環境関連など幅広い分野に向けた製品・設備などの開発・製造・販売

人とみらい開発事業 1980年～ 「街づくり」を主眼とした地域共生型のサービス提供および不動産開発

2000～

バリュードライバーへの再投入

(社会価値を起点とする投資とM&A)

繊維事業の統廃合を中心としたM&A(繊維再編)だけではなく、社会ニーズの高い新分野へ参入

- 2001年
信成商事(株)・松本(株)・エイコー寝装(株)の3社が統合しニッケ商事(株)が発足
- 2002年
(株)ニッケ・ケアサービス設立/アンビック(株)をグループ会社化/弥富・岐阜・一宮の遊休地再開発
- 2004年
関西メディア販売(株)をグループ会社化(現・ニッケアウデオSAD(株))
- 2006年
(株)ゴーセン・(株)ナカヒロ・佐藤産業(株)をグループ会社化
- 2007年
連結売上高1,000億円を超えるNN120ビジョン策定、「繊維」「非繊維」の意識をなくし、全ての事業を「本業」と位置付け6事業部制とする
- 2008年
通称社名ニッケを採用
- 2009年
リーマンショック後の景気後退を受けて業績悪化対応策を実施/定年年次を延長、65歳定年制に移行
- 2011年
(株)友栄をグループ会社化
- 2012年
日毛(上海)管理有限公司を設立/南海糸紡績(株)をグループ会社化(現・(株)ニッケテキスタイル)/4事業部制へ変更
- 2013年
(株)ツキネコをグループ会社化/ニッケタイランド設立/ニッケまちなか発電所明石土山開業
- 2014年
(株)ナイスデイをグループ会社化
- 2015年
日本パムコ(株)・杉本織物(株)(現・(株)ナカヒロ)をグループ会社化

2016～

みらい生活創造企業へ

- 2016年
創立120周年/RN130ビジョン策定/(株)こどものかお・ミヤコ商事(株)をグループ会社化/「工房からの風」がメセナアワード大賞2016「メセナ大賞」を受賞
- 2017年
(株)エミーをグループ会社化/「工房からの風」がグッドデザイン賞受賞
- 2018年
(株)ニッケ・メディカル設立/中国スクールユニフォーム業務展開のため青島日毛織物有限公司分公司を上海に設立/(株)AQUAをグループ会社化
- 2019年
(株)京都医療設計・(株)日本馬事普及・(株)京阪電気商会をグループ会社化/10期連続営業利益増益を達成
- 2020年
第一織物(株)・(株)中田工務店をグループ会社化/(株)フジコーと資本業務提携/(株)ニッケインドアテニスと(株)ニッケレジャーサービスを合併し、(株)ニッケウエルネスに商号変更
- 2021年
(株)ワイワイ・(株)フジコーをグループ会社化/アンビック(株)が中国子会社の新工場竣工

2022～現在

- 2022年
2月 サステナビリティ委員会設置
4月 東証プライム市場に移行
ニッケゴルフスクールユニオン緑が丘を開業/トータルリハビリテーショントリアを開業
10月 ニッケコルトンプラザリニューアルオープン/(株)AQUA、(株)ナイスデイを合併
11月 TCFD提言への賛同表明/サンコー(株)をグループ会社化
12月 みらい創造室設置
- 2023年
6月 (株)インテリアオフィスワンをグループ会社化



創業者：川西 清兵衛
六代目 川西 清兵衛を襲名した33歳の頃



図案化された文字「毛」を太陽で囲んで日毛を表した当社の商標

事業拠点 (2023年6月2日現在)



ニッケ事業拠点

- ニッケ大阪本社・大阪営業所
- ニッケ名古屋営業所
- ニッケ一宮事業所
- ニッケパークタウン
- ニッケ神戸本店
- ニッケ中四国・九州営業所
- ニッケ岐阜工場
- ニッケコルトンプラザ
- ニッケ東京支社・東京営業所
- ニッケ印南工場
- ニッケ創作工房
- ニッケ乗馬クラブ



衣料繊維事業

- 株式会社ナカヒロ：衣料用素材・商品の販売
- アカツキ商事株式会社：衣料用素材・商品の販売
- 佐藤産業株式会社：衣料商品の販売
- 大成毛織株式会社：毛織物製造
- 金屋ニット株式会社：ニット製品製造
- 尾州ウール株式会社：撚糸加工
- 株式会社ニッケテキスタイル：糸糸・テキスタイルの企画・販売
- 株式会社ニッケ起ダイニング：糸染・染色加工
- 株式会社ニッケ物流：物流に関する業務全般
- 第一織物株式会社：超高密度織物の開発・製造・企画・販売
 - ↳ 迪壹織物貿易有限公司：超高密度織物の企画・販売
- 株式会社キューテック：学生服縫製
- 株式会社艶金：染色整理加工、縫製品やニット生地 of 企画・製造・販売
- 青島日毛織物有限公司：毛織物製造
 - ↳ 青島日毛織物有限公司 上海分公司：毛織物販売



産業機材事業

- アンピック株式会社：不織布やフェルトの製造・販売
 - ↳ 日本フェルト工業株式会社：フェルトの加工
 - ↳ 江陰安碧克特種紡織品有限公司：フェルト、高機能フィルター材の製造
 - ↳ 安碧克(上海)貿易有限公司：フェルト、高機能フィルター材の販売
- 株式会社ゴーセン：スポーツ用品、釣糸、産業資材の製造・販売
 - ↳ 上海高織製紐有限公司：EVモーター用結束ひもの製造
 - ↳ GOSEN (THAILAND) CO., LTD.：自動車用繊維資材の製造加工
 - ↳ ホクレン株式会社：合繊繊維、天然繊維のチーズ染色・巻き加工
- 株式会社ニッケ機械製作所：産業用機械の製造・販売
- NIKKE (THAILAND) CO., LTD.：アジア地域にあるグループ会社の業務支援
- 株式会社エミー：産業資材やプラント設備などの輸出入
 - ↳ 億明貿易(廈門)有限公司：日本関連取扱品を中国で販売
 - ↳ 億明貿易(廈門)有限公司 昆山分公司：日本関連取扱品を中国で販売
- 株式会社フジコー：不織布やフェルトの製造・販売
 - ↳ 富士工香港有限公司：不織布やフェルトの販売
 - ↳ 富士工精密器材(深圳)有限公司：不織布やフェルトの製造加工
 - ↳ PT.FUJIKO INDONESIA：不織布やフェルトの製造
 - ↳ FUJIKO KOREA CO., LTD.：不織布やフェルトの販売
 - ↳ 株式会社三和フェルト：不織布やフェルトの加工
 - ↳ 三和氈子香港有限公司：香港の営業拠点
 - ↳ SANWA FELT (THAILAND) CO., LTD.：不織布やフェルトの加工
 - ↳ SANWA FELT VIETNAM CO., LTD.：不織布やフェルトの加工



人とみらい開発事業

- ニッケ・タウンパートナーズ株式会社：ショッピングセンターの運営管理・運営委託
- ニッケ不動産株式会社：建設、宅地建物取引、ビル管理、警備
 - ↳ コスモ・メンテナンス株式会社：建物メンテナンスのトータルサポート
 - ↳ 株式会社京阪電気商会：電気設備工事の企画・設計・施工
 - ↳ 株式会社中田工務店：建築物のデザイン・設計・施工
- 株式会社ニッケウエルネス：スポーツ関連事業
- 株式会社ニッケ・ケアサービス：介護事業
- 日本パムコ株式会社：介護事業
 - ↳ 株式会社スクーデリア：介護事業、児童の発達支援
- 株式会社ニッケライフ：認可保育所・学童保育所・パイリンガル幼児園の運営
 - ↳ 株式会社ニッケナーサリー：認可保育所の運営
- ニッケアウデオSAD株式会社：フランチャイズ事業、キッズランド事業



生活流通事業

- ニッケ商事株式会社：生活必需品やレジャーホビー用品などの企画・販売
 - ↳ 株式会社友栄：100円ショップ向け雑貨の企画・輸入・販売
 - ↳ 株式会社ワイワイ：服飾製品や雑貨の企画・輸入・販売
- 株式会社ツキネコ：インクパッドの企画・製造・販売
- 株式会社こどものかお：スタンプ関連商品の企画・販売
- ミヤコ商事株式会社：家具・インテリア輸出入・卸売および小売り
- 株式会社AQUA：デザイン家電、インテリア用品、寝装品のネット販売・卸売
- サンコー株式会社：生活家電の企画、製造、卸売および小売り
- 株式会社ニットーファミリー：アフラック専属代理店
- 株式会社IDクリエイト：液晶保護フィルムのOEM・ODM
- 株式会社日本馬事普及：乗馬用品や馬具の輸入・販売
- 株式会社インテリアオフィスワン：家具・インテリア用品の企画・開発・販売

その他

- 株式会社京都医療設計：医療機器の開発・製造・販売
- 株式会社ニッケ・メディカル：試薬・医療機器材料の開発・製造・販売
- 日毛(上海)管理有限公司：中国拠点支援

会社概要 (2022年11月30日現在)



通称社名	ニッケ
社名	日本毛織株式会社
本社	〒541-0048 大阪市中央区瓦町3丁目3-10
設立	1896年(明治29年)12月3日
資本金	6,465(百万円)
従業員数	連結：5,025名 単体：488名
上場区分	東証プライム
代表者	ニッケグループ代表 代表取締役社長 長岡 豊(ながおか ゆたか)

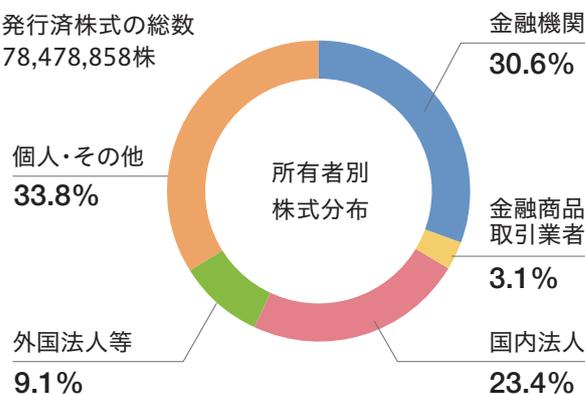
大株主の状況 (2022年11月30日現在)

株主名	所有株式数(千株)
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	7,527
株式会社みずほ銀行	3,339
株式会社三井住友銀行	3,268
日清紡ホールディングス株式会社	2,763
SMBC日興証券株式会社	2,055
株式会社竹中工務店	2,000
株式会社三菱UFJ銀行	1,814
日本生命保険株式会社	1,808
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,750
ニッケ従業員持株会	1,631

(注)当社の所有する自己株式7,784,142株は上記の表には含めておりません。

株式の状況 (2022年11月30日現在)

- 株主数
28,748名
- 発行済株式の総数
78,478,858株



Webサイトの紹介

ニッケグループの最新情報や業績などは、コーポレートサイトならびにIR情報ページをご覧ください。



<https://www.nikke.co.jp/>



[IR情報]

<https://www.nikke.co.jp/investor/>



ニッケ
経営戦略センター
総務法務広報室

お問い合わせ先

<https://www.nikke.co.jp/contact/>

QRコードよりアクセスし、専用フォームにてお問い合わせください。



企業情報に関するご意見・ご質問は、連絡先をお聞きした上で関係部署から返答させていただきます。

※ 返答は後日になる場合がございますので、ご了承くださいませようお願いいたします。